

とおの

No.36

2014. 4

議会だより

花巻・遠野・釜石の縁を

しっかりと結んで走る、SL銀河



SL 銀河 C58 を歓迎し、市内各地でしし踊りや様々なイベントで、遠野のおもてなしの心を伝えています。

古くから縁のある釜石をはじめ沿岸被災地の一日も早い復興への「遠野の人のおもいとねがい」も一緒にのせて、力強く走り続けてください。

主な内容 3月定例会

- ◆ 26年度の目玉事業 ————— 2～3 P
- ◆ 議員定数・報酬調査特別委員会報告 ——— 4 P
- ◆ 定例会等の概要等 ————— 5 P
- ◆ 意見書・請願等 ————— 6 P
- ◆ 3月定例会議案審議結果 ————— 7 P
- ◆ 賛否の公表等 ————— 8 P
- ◆ 市長へ要望書提出 ————— 9 P
- ◆ 市民と議会との「春の懇談会」告知 — 10 P
- ◆ 研修視察レポート ————— 11～13 P
- ◆ 予算等審査特別委員会質疑 ——— 14～16 P
- ◆ 一般質問 11人が登壇 ————— 17～27 P
- ◆ 私のひとこと、編集後記 ————— 28 P

26年度 新規・目玉事業

5億6,483万円



市民センター大規模改修事業

市民センター及び体育館の大規模改修を実施し、市民協働と生涯学習の拠点施設としてリニューアルします。

4,572万円



重要文化財千葉家住宅整備事業

国指定重要文化財千葉家住宅を今後100年保存活用していくため、防災施設の設計と防災道路の工事を進めます。

8,109万円



小友診療所改築事業

地域医療の拠点である小友診療所を整備し、さらなる地域医療体制の充実・推進を図るとともに、良好な医療環境づくりに努めます。

1億5,283万円



生活に身近な道づくり事業

市道等の日常生活に欠かせない生活関連道路を計画的に整備し、市内各公共施設や集落間の連絡性や利便性を高め、地域住民の快適な暮らしを確保します。

380万円



遠野いわてっこ生産拡大促進事業

生産目標を1,000トンに掲げ、いわてっこの生産拡大を図ります。このことにより生産者に対し、生産・出荷・販売促進への支援を行い、消費地に信頼される産地形成と安定的な販路の拡大につなげます。

1,500万円



不妊治療支援事業

不妊に悩む方々への治療費の助成額を今まで以上に拡大し、高額の治療費がかかる不妊治療について、経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されない治療費の全部又は一部を助成します。

1,111万円



学力向上対策事業

市内小中学生を対象にして、標準学力検査等を実施し、その成果を児童生徒の学力向上につなげます。

3億437万円



公共牧場再編整備事業

牧場間の機能分担を図りながら、公共牧場の再編整備を進め、飼料基盤に立脚した生産性の高い家畜生産の実現を目指します。

467万円



平成28年岩手国体準備事業

平成28年度に開催される希望郷いわて国体に向けた準備やPRを行うとともに、市内の国体ジュニアサッカー選手レベルアップを図ります。

平成26年度予算 179億3,000万円可決



平成26年3月定例会
が2月28日に招集され、
3月14日までの15日間の
会期が開かれました。
今定例会では、市長
の施政方針演説及び教
育委員長の教育行政推
進基本方針演説があり
ました。一般質問には
11人の議員が登壇し、
市政を問いました。
提案された条例10件、
平成26年度一般会計予
算ほか予算16件、その
他6件、人事案件4件
の全37議案を原案のと
おり可決しました。ま
た、最終日には発議案
2件を可決しました。

3月定例会

議会改革

議員定数 削減を可決 20人を18人に

平成25年9月20日、議員6名で構成される議員定数・報酬調査検討特別委員会(以下「委員会」)が設置され、これまで7回の委員会を開催し、議員定数や報酬について協議してきました。今定例会で委員会の最終報告が行われ、議員定数の削減が賛成多数で可決されました。

▼議員定数

執行機関と議会は、独立・対等の関係に立ち、相互に緊張関係を保ちながら協力して自治体運営を行う責任があります。議会は、審議の場に多様な住民の意見を反映させ、審議の過程では意見を明確にし、政策を決定することが求められています。

す。そのためには議員の定数が多い方が、住民の多様な意見が行政に届きやすいと思われ
ます。
一方では、本市の人口は3万人を切っており、今後財政的にも厳しい状況になることが見込まれています。当市の置かれた現状を鑑み、定数削減はやむなしという意見の議員が多くを占めました。議員定数が減っても、議会改革の取り組みを今後も引き続き推進し、より多くの住民の意見をくみ取るよう努力すること、議会が果たすべき責務を全うすることができると考え、議員定数を現行の20人から2人減の18人とすることと判断しました。

▼議員報酬

地方分権や議会改革の流れの中で、議員の活動も多様化し、議員の様々な責務や負担は増えています。時間的、組織的に制約のある会社員等が議員となった場合、引き続きその職にありながら議員活動を行うことは現在では難しく、また、様々な年代や分野から議員が出てくるためには、生活が保障されることが必須です。それには議員報酬の増額が望ましいと考えますが、当市の財政的状況を鑑み、現時点では現状維持と判断しました。

▼議会に求められるもの

平成24年6月の遠野



平成25年11月に開催された
市民と議会の「秋の懇談会」の様子

市議会基本条例の制定以来、市民との懇談会など市民の意見をくみ

取る取り組みや、一般質問の一問一答方式の導入など市民に分かりやすい議会を目指すべく議会改革に取り組んでまいりました。一方では、議員定数及び議員報酬について調査検討していく過程で、現在の遠野市議会における課題が明らか

1. 若い世代や女性が議員に立候補しやすい環境づくりをめざすこと。
2. 住民の多様な意見をくみ取り、議論していくことから政策提言していくこと。
3. 議会や議員の活動が、住民に適正に評価されるための情報発信をしていくこと。
4. 遠野市議会基本条例に基づき、さらなる議会改革に取り組みること。

これらの課題に、より一層取り組んでいく必要があると結論づけました。

になってきました。それは次の4項目です。

3月定例会議案審議結果

Table with columns for '議案名' (Proposal Name), '賛成' (Favorable), '反対' (Opposition), and '結果' (Result). It lists 37 proposals, including budget amendments and ordinance changes, with results such as '全員賛成' (Unanimous approval) or '同意' (Consent).

議員発議

今定例会では、2件の議員発議案（条例1件、意見書1件）が提出され、原案のとおり可決しました。意見書は、平成26年3月14日付けで、内閣総理大臣、財務、総務、国土交通大臣、内閣官房長官あてに送付しました。可決した発議案は次のとおりです。

●発議案第1号

遠野市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について

●発議案第2号

道路・橋梁の維持修繕に係る財源等の助成を求める意見書の提出について

国では、市道等の維持管理について、道路管理者の義務を明確化し、平成26年度からの適用を目指している。本市が管理する道路及び橋梁は、老朽化が進行しているが、財源

不足や技術者不足などのため、維持管理が困難な状況下にあるため、確実な財源の確保や維持管理分野における技術者の育成、技術支援について国に求める。

意見書

道路・橋梁の維持修繕に係る財源等の助成を求める意見書

請願

◆請願第1号

岩手県の医療費助成制度について現物給付の導入を求める請願

岩手県保険医療協会 代表者 箱石 勝見

不採択

議会の動き

(1~3月)

Calendar of council activities from January to March. It lists various meetings, committee work, and public events such as '地域見守り活動に関する協力協定締結式' and '岩手県建設業協会 遠野支部新年会'.



新田勝見議長から本田敏秋市長に要望書が手渡された

市民の声を市政へ 市へ要望書を提出

要望事項

1. 清養園クリーンセンターの入浴施設の継続について

平成27年10月から(仮称)岩手中部広域クリーンセンター稼働が予定されており、それに伴い清養園クリーンセンターのごみ焼却施設は、その役目を終えることが見込まれる。

この施設の熱源は、保養センターの入浴施設にも利用されており、市内外からの利用者も多い。また、東日本大震災の際には、沿岸被災者等への入浴の提供として大きな役割を担った経緯もあったことから、ごみ焼却施設

2. 公共施設のバリアフリー化について

高齢者や障がい者等の社会的弱者が自立した社会生活を営めるよう、公共施設のバリアフリー化を積極的に取り組んでいただきたい。

特にも、水光園の障害者用トイレへの通路が傾斜しており、利用者から「危険である」との声があり、早急な対応を求める。

3. 八幡市営住宅の住環境の改善について

老朽化が進む市営住宅については、入居者を福祉住宅に移転入居させ、解体撤去を行うなど、市でも重要な課題と認識し取り組みられているが、地理的条件的にも恵まれた同地区の有効活用に向け、より積極的な取り組みを求める。

4. 公園の整備について

遠野市わらすっこ条

5. 附馬牛診療所の存続について

当診療所は、利用者の減少もあり、附馬牛町民は診療所が廃止されるのではないかと不安を抱いている。地域住民にとって唯一の身近な医療施設である附馬牛診療所の存続を求める。

今後、高齢者世帯が増加し、車で送迎してくれる家族がない世帯の増加も想定されることから、高齢者の通院のための交通手段の確保についても、併せて要望する。

平成25年11月19日から21日までの3日間、市内9会場で市民と議会との『秋の懇談会』を開催し、市民の皆様からたくさんの方からご意見やご提言を頂きました。それらをまとめ、要望書として、3月14日に市長に提出しました。

設廃止後も入浴施設の継続を求める。

例を制定し、「子育てするなら遠野」を標榜する本市にとって、市内には、子どもを安心して遊ばせることができず、公園が不足している。駐車場も完備し、子育て支援につながる公園の整備を求める。

賛否の公表

議案名	
議案第14号	消費税及び地方消費税の税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
議案第22号	市道路線の廃止について
発議案第1号	遠野市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について
請願第1号	岩手県の医療費助成制度について現物給付の導入を求める請願【不採択】

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
議員氏名	萩野 幸弘	瀧本 孝一	多田 勉	菊池由紀夫	佐々木大三郎	菊池巳喜男	照井 文雄	荒川 栄悦	菊池 充	瀧澤 征幸	小松 大成	織笠 孝之	菊池 邦夫	菊池 民彌	佐々木 讓	多田 誠一	安部 重幸	石橋 達八	浅沼 幸雄
議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
発議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
請願第1号	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×

※議長は採決に加わりません。○は賛成、×は反対 ※全員賛成、または全員反対以外は、賛否の内訳を表記します。

採決で賛否が分かれた案件の審議内容です。賛成及び反対の立場から討論がありましたので、その要旨を掲載します。議案第14号、第22号、発議案第1号及び請願第1号以外の案件は全会一致で可決されています。

議案第14号 反対討論

この条例改正は、4月実施の消費税8%への増税に伴う各種手数料、利用料の値上げ案件である。低所得者と中小企業ほど所得に占める税負担率が高い消費税の増税は、経済を減速化させ、格差社会を助長する。従って、この条例案にも当然賛同しかねる。

小松 大成 議員

賛成討論

この議案は、いわゆる消費税法の改正を受けて地方自治体としての使用料及び手数料の改定等をやむを得ず実施しようとするものである。消費税法改正そのものの反対は、この議案においては全く主旨が合致するものではなく、法を無視した反対としか言いようがない。従って、このような反対は到底理解できないものではない。

瀧澤 征幸 議員

議案第1号 賛成討論

議員定数の検討は議会基本条例にのっとりなされた。定数減によって多様な意見が出てくることへの考えもあるが、個々の議員や議会の質を高め、緊急感を持って議論をすることが大事であると思うことから、議会改革を止める訳にはいかない。

荒川 栄悦 議員

請願第1号 反対討論

医療費の現物給付

賛成討論

医療費の現物給付は、全国38都府県で導入され、東北では岩手県以外の全ての県で導入されている。患者にとっては負担上限額の医療費負担だけとなり、安心して受診でき、住民の健康増進及び早期発見・早期治療が図られる。当市の緊急的優先課題である「子育てするなら遠野」の施策推進に重要な役割を果たす制度であると考ええる。

菊池 充 議員

反対討論

は、安易な受診の助長につながる、更には国からのペナルティーがある。市町村の関係業務処理システムの変更経費がかかるなど課題もある。従って、医療費制度の改善に向け、ある程度県内自治体間の足並みを揃えつつ、実態やペナルティー等の検証作業や共通理解を深めてから判断すべきである。

瀧澤 征幸 議員

〔視察日程〕
1月21日～22日
〔視察研修先〕
宮城県角田市
宮城県名取市



角田市議会議長からあいさつを頂戴する

議会運営委員会

◆角田市議会報告会の開催状況
平成21年度から年2回開催され、24年度から年1回の開催となる

る。取組については概ね本市と相違なく感じましたが、市民からの意見要望を内容によって、各常任委員会に振り分けをし、政策提言につなげるために調査研究が必要なことから年1回の開催としている。しかし、年1回の開催では足りないとの市民の声もあるようだ。

◆角田市議会の自由討議の状況

議員間の自由討議は議案の審議及び審査にあたり、議員相互間の議論を尽くすよう務める事と定められて、事前通告制で行われていた。案件の審議及び審査にあたり、当局を退席させてから、通告のあった議員が討論を述べ、その内容について議員個々あるいは会派の考えを議論する内容となっていた。当議会も自由討議のルールづくりを急ぐべきと思う。

◆名取市議会の懇談会の開催状況と市民への情報発信

平成21年は議会報告会、翌年からは議会懇談会と名称を改めて年1回11月に12箇所で開催され、平成24年から16箇所を増やした。住民からの意見等の扱いは、できるだけ会場で回答することにしてはいるが、回答できなかったものは持ち帰り、班毎に意見提言等の内容確認と取扱いの分類を行い、班長会議、議会運営委員会で取扱いを決定し素案を2～3週間以内で作成していた。

◆結びに…

当市議会は、議会基本条例にのっとり、市民の声を反映し、市民の抱える課題を市当局と一体となって克服していかなければならないと強く感じた。



名取市役所での研修

平成26年度 市民と議会との「春の懇談会」を開催します。

皆さんの意見が議会を変えます。ぜひ奮ってご参加下さい！

議会改革に市民の皆さんの声を反映させるため、ご意見をお聴かせ下さい。どなたでも参加できますので、ご都合のよい会場へお気軽にお越し下さい。

◆主な内容◆

- 3月定例会報告
- H25「秋の懇談会」の要望等への対応

●開催日時および場所（午後7時～8時30分）

開催日程・日時	会場	担当班
4月22日（火）	土淵地区センター和室	第1班
	上郷地区センター第3会議室	第2班
	小友地区センター和室	第3班
4月23日（水）	松崎地区センター会議室	第1班
	あえりあ遠野中ホール	第2班
	附馬牛地区センター和室	第3班
4月24日（木）	青笹地区センター和室	第1班
	宮守ホールベゴっこホール	第2班
	綾織地区センターラウンジルーム	第3班

●担当班の編成

第1班	第2班	第3班
萩野 幸弘 照井 文雄 菊池 邦夫 浅沼 幸雄	菊池由紀夫 瀧澤 征幸 多田 誠一	瀧本 孝一 佐々木大三郎 荒川 栄悦 小松 大成 菊池 民彌 安部 重幸 新田 勝見
		多田 勉 菊池巳喜男 菊池 充 織笠 孝之 佐々木 譲 石橋 達八

緑風会

【視察日程】
2月5日～6日

【視察研修先】

静岡県藤枝市
静岡県清水市
【参加議員】
瀧澤征幸

萩野幸弘
新田勝負

◆アグリフューチャー
藤枝の概要

▽平成22年1月、漢方



藤枝市での研修

薬の原料となる薬用農作物の栽培を行う生産組織として「藤枝市薬用農作物生産出荷組合アグリフューチャー藤枝」を設立
▽薬用農作物として「ミシマサイコ」の契約栽培を展開
▽組合員数：62名↓現在42名
▽作付面積*約3ha
▽必要な機材は組合で所持し貸与する
▽事務局：藤枝市農林課

◆ミシマサイコについて

・お茶をはじめとした農作物の価格低迷、農業者の高齢化、イノシシ被害などのため、農業経営安定化につながる作物を検討していた。
・漢方薬の原料となる「ミシマサイコ」は、地元製薬会社との契約栽培が可能であり、同社から奨められた薬草



薬草ミシマサイコ

である。
・ミシマサイコは、乾燥に強く、発芽までは灌水が必要であるが、その後は不要であり、作業の手間が軽減される。一人での作業も可能となる。
・匂いが強烈なため、鳥獣害の被害がほとんどない。
・耕作放棄地（遊休農地）の再生として、ミシマサイコ作付面積の約半分は耕作放棄地を活用している。※耕作放棄地再生利用緊急対策事業（例 国1/2、県1/4、市1/4）、補助金によりミシマサイコ実証圃を設置。
・平成25年度から、地元製薬会社の了解により新たな除草剤の使用が可能となった。除草の省力化に向け、より

効果的なマルチ栽培の研究が必要である。除草作業は栽培のリタイアの大きな要因となっているためである。
・採算性については明快な回答がなかったが、恐らく労力分を換算すると赤字になるとのこと。しかし、高齢者対策、耕作放棄地の再生、有害鳥獣対策には打って付けの作目ではないだろうか。

野市においても薬草栽培について研究・検討を進める価値が十分にあるのではないだろうか。また、藤枝市の薬草栽培への実践的取組は、自ら市で生産組織の事務局を受け持つなど素晴らしい、特産品開発等への大きなヒントとなるのではないかと。



藤枝市議会議場にて

会派合同視察研修

（新興会・清風会・緑風会）



バイオマスパワーしずくいの説明員の話に熱心に聞き入る委員たち

【視察日程】
2月20日～21日

【視察研修先】

栗石町株式会社バイオマスパワーしずくい
青森県上北郡東北町JAゆうき青森

【参加議員】

菊池邦夫、瀧本孝一、菊池由紀夫、菊池民彌、浅沼幸雄、荒川栄悦、菊池巳喜男、照井文雄、萩野幸弘、新田勝負（順不同）

◆環境に配慮したバイオマス資源の循環サイクルの促進

バイオマスパワーしずくいしは、平成16年に資本金3千万で小岩井農牧をはじめ4社1町で設立され、平成18年から事業を開始した。小岩井農場で飼養する搾乳牛や肥育牛、鶏が排泄する糞尿を主体に、町内の学校等給食加工残さと食品加工会社からのコーヒークラカシ、おからな

どの固形物1日115トンを受け入れ、100%リサイクル処理している。食品残さ：家畜糞尿は固液分離し、液分がメタン発酵設備に送られ、メタンガスエンジンにより発電する。固液は、減菌装置を通じて消化液（液肥）となる。固液分離された固形物は、堆肥化設備に送られ、一次発酵二次発酵を経て堆肥となる。

■電力

【場内使用】
2,000 kw/日
【場外売電】
2,000 kw/日

■消化液

農場へ52t/日販売液肥として土中注入散布

■堆肥

農場へ29t/日販売ガスエンジン発電機により電力と排熱を得て、電力は場内利用・売電し、排熱は家畜糞尿・食品残さの昇温と

メタン発酵槽の保温に利用されている。小岩井農場で排出される家畜の排せつ物処理は、環境面で課題があった。平成16年に家畜排せつ物適正処理法が施行され、いわゆる野積み等が禁止された。このことにより、当農場に限らず飼養規模に見合う処理施設や堆肥舎などが設置された。最終的に産出される消化液・堆肥は場内に投入されることから、重金属の蓄積が懸念される魚介類や、防疫の観点から肉類等の受け入れはしていない。環境とエネルギーがしっかりと調和し、リサイクルする施設整備と運営実績は極めて高いと感じた。

◆東北町の概要

小川原湖を「宝湖」と呼び、シラウオとワカサギの漁獲量が日本一。ほかにシジミなど、1年を通して採れる魚介類が豊富である。農業では、水稲をはじめ生産量日本一を誇るナガイモ、根菜類や葉た



東北町役場での研修

※【エコ・ファーミングPBCとは】
「健康な畑に健康な野菜が育つ」との信念から、JA独自で設定した認証システムのこと。基本となるは場目標値を設定し、土壌診断結果と巡回確認によって登録された生産は場ごとに認証している。

ばこ生産が盛んで、県内でも有数の規模を誇る畜産地帯である。
◆JAゆうき青森の「有機の里」構想
JAゆうき青森は、東北町・七戸町・野辺地町・六ヶ所村で構成された地域である。販売品販売高134億円、購買品供給高59億円、行政が主要施設の洗浄選別貯蔵・下位等級品の処理加工施設整備をしっかりと支えている。おいしい安全野菜の産地づくりを目標し、土づくりに有効な堆肥の製造と土壌診

断に基づく施肥改善のための分析センターと堆肥センター・有機供給センターを整備している。耕畜連携により、循環型の農業を構築している。営農指導体制も品目担当から地区担当とし、更に部会事務等から開放し、指導業務に専念する体制としている。JAゆうき青森では、エコ・ファームリングPBC認証を取得し、「安くておいしい、消費者に選ばれ続ける野菜と産地」を目指す取り組みを進めている。

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く19人の議員で構成、委員長は菊池民彌議員、副委員長安部重幸議員）は、条例10件、予算17件、その他6件について付託を受けて2日間の審議を行いました。今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、付託された議案が原案のとおり可決されました。



コンビニ収納による納付手段の更なる拡大を

市税等のコンビニ収納に向けた取り組み

問 担当課は市内のコンビニの店舗数の把握や、その利便性を

答 多くさんの活字でなく興味を引く工夫が大事では。本条例は市民に分かりやすく、工夫したことで生かされると認識しており、工夫した

答 導入費用やコスト面等バランスの問

問 望んでいる市民もいる中で、一刻も早くこの問題を進展させるべきだ。今後の作業スケジュール等は。

答 市内にコンビニは10数店あると認識している。市民のライフスタイルの変化に伴い、24時間いつでもコンビニ収納は、非常に有効な納税機会の拡大の手段と捉えている。

問 地区センターの今後のあり方についてどのよう

地区センターのあり方

問 地区センターにおける地域活動専門員の実際の活動内容は。

答 「地域づくり・健康づくり・人づくり」の各分野に精通した活動専門員を配置し、自主防災組織の育成や指導、防災マップの作成、買い物弱者支援事業、スポーツを通じた健康づくり、しじ踊りなど郷土芸能の指導を行っている。

国際リニアコライナーの当市の取り組み

問 市民の関心がよせられ、今後重要な課題と思われるが、本市での取り組みは。

答 研修などに参加し情報を集めている。遠野として参加できることを見極め検討してゆきたい。

福祉関係の人材育成

問 地域福祉連携推進事業で、有効な地域活動をするための人材育成はどう考えているのか。

答 介護福祉分野に限らず、生活全体を支える身近な課題から解決したいと考えているが、今年度はケアマネージャー資格取得のための研修に対して社会福祉協議会に補助金を交付する。

不妊治療助成拡大の内容

問 不妊治療の実績はどうか。

広報紙の増額要因

問 広報紙の広告収入が増額しているが、どのような対策を講じたのか。

答 既に利用して頂いているお客様で更方から継続掲載のお願いをしているほか、新規問い合わせのお客様を取り込む等の対策を講じている。その結果、収入増に結びついたと思われる。

問 広報紙とは逆に市のホームページは「広告バナー募集」となったままで広告が未だに掲載されていない。どうなっているのか。

答 市のホームページについても多岐に広告掲載をお願いしてきたが、このような結果だ。月7万件以上のアクセス実績があるので、今後もホームページの紙面や内容を魅力的なものにし、広報紙広告と連動させ、積極的な広告



友好都市である愛知県大府市の交流団を歓迎

友好都市の有事に際する支援基金創設の考え

問 3・11震災時、多くの見舞いや支援金を頂いたが、今後発生が予測される大地震

答 災害の支援金として、4カ年で1億6千万円ほど頂戴し、被災地の支援や本市の災害復旧等に充てている。そうした趣旨の基金は創設していない

臨時福祉給付金の概要

問 この給付金はどういうものか。

答 4月から消費税が5%から8%に、さらには来年10月に10%になる予定だが、その1年半を対象に食料費の負担増加相当分という形で給付するものである。対象者は、平成26年1月1日に遠野市に住所を有し市民税が非課税の方であるが、生活保護の方は除かれる。一人当たり1万円、高齢基礎年金の受給者等は5千円の加算がある。1回のみ支給となる。

遠野市防災基本条例の周知方法

問 この条例の制定に伴う市民への周知方法は。

答 自主防災組織の会議や地区に出向いて行う周知と遠野テレビ等による周知を考えている。

問 このような条例の周知を図る場合、ダイジェスト版やフロリーチャートのように分かりやすいものとし、災害時に有効活用されるような検討を。

答 分かりやすいパンフレットで市民に周知する。
問 特に高齢者や一人暮らしなど、災害弱者の方々への周知が大事だと思いませんか。
答 自主防災連絡会や民生委員の方々等

が、そのような事態が発生した場合は、財政調整基金などで対応したい。また今般制定される防災基本条例においても、他の地方公共団体への災害時対応について盛り込んでい

答 市民税の非課税者が8千人、加算対象の方が4千人で1万2千人と見込んでいます。遠野広報や遠野テレビ等でしっかり周知を図りたい。

市政を問う

(文責本人)



佐々木 謙 議員
(無党派)

一括質問方式

広域的なシカの駆除対策は

問 笛吹牧場には多くのシカが生息していると言われているが、その頭数を把握しているか。
答 実施隊などの情報では、千頭以上いると言われている。この牧場には除染計画があり、作業が春から実施されると、更なる里への影響が懸念され、特別な対応が必要と考えられるが。

問 この牧場には除染計画があり、作業が春から実施されると、更なる里への影響が懸念され、特別な対応が必要と考えられるが。

答 この牧場は釜石市との連携が必要で、今後対策を講じ更に周辺自治体や、県と共に対策を強化したい。

問 除染作業が実施されることは早くから分かっていることで、行政間で水平連携が未だに取られていない事が理解できない。早急に行政間の協議が必要では。
答 捕獲の協議はなされた経緯はあるが、今後も広域的な部分は協議してゆく。市内での捕獲は今後も進めていく。

問 2〜3年前から広域で協議するとしていたが、どのような話し合いがなされてきたのか。
答 行政間での協議にとどまらず、猟友会との話し合いも必要で、その調整はこれからである。

問 宮守まちなか再生事業のめがね橋周辺施設の改修は、SL運行開始に合わせて施設がオープン出来るのが理想であった。事業がこれからの計画・設計では、SLのブームとずれが生じ、機運が失ってしまうのではないか。
答 SL運行に間に合えば本当はいいのだが、ゆうYOUソフト館の図書館機能移設を含め、めがね橋を中心とした地域をトータル的に活性化するため

SL運行と宮守まちなか再生事業のズレは

問 現在基本設計を協議中である。
問 SLプロジェクト推進本部を立ち上げてから1年以上経過した。地元でも機運を盛り上げようと努力をしている。メインとなる施設がこれから1年ぐらいかかることは残念であるが、今後の内容やスケジュールは。
答 点の事業ではなく、mmlを中心にしためがね橋周辺の宮守の活性化という面の考え方で事業を進めている。確かに1年遅



めがね橋を駆け抜けるSL銀河

れるが、その遅れた分全体の活性化が図れるという計画を、地元の検討会や関係者と相談しながら進めている。工事は早くも9月以降か、来年度になるかもしれないが、出来るだけ急いでやりたい。

SL運行に伴う地元商店街との連携は

問 SL停車場プロジェクト推進室が、これまで行ってきた取

り組み内容と成果は。平成25年1月15日に推進本部を立ち上げ関係機関と協議を重ねてきた。新たな取り組みとして市内循環ワゴン車の運行、またSLの停車時間内の各種おもてなし等の事業を考えている。

問 SL運行による市内の経済効果は約3億円と伺うが、お客様のおもてなし方法や観光スポット・お土産の回遊ルート、お食事処などの具体策を検討すべきでないか。
答 喫緊の課題と捉えている。中心市街地の活性化や商店街の利便性向上、お客様へのおもてなし環境の向上策などを早急に整備し、4月12日のスタートを迎えたい。

兵庫県福崎町との友好都市締結の取り組みは

問 市長の施政方針演説の中で、遠野物語に関わって、柳田國男先生の生誕の地である兵庫県福崎町との友好都市締結に向けた取り組みは、今後どう取り組むのか。
答 福崎町と当市は、昨年両市町において友好都市の締結に向けて努力していくことで合意した。同町とは昭和62年からの柳田國男サミットからのお付き合いもあり、柳田國男を顕彰し、文化による町づくりを進めるという同じ目的も共有している。平成26年8月頃遠野市において友好都市の締結を正式に行いたいということで概ね合意されている。福崎町にとって、友好都市締結は遠野市が初めてのこと、兵庫県新聞でもかなり大きく取り上げられている。両市町の温度差が生じないよう交流等進め締結に結び付けた

行政区の見直しは

問 市内90行政区には、世帯数の多寡や、自治会活動等で多くの課題を抱えているが、進化したまちづくり検証委員会での検証内容について伺う。
答 行政区の見直し、再編等を視野に入れた検討を進める。「遠野物語研究所」の

答 解散について伺う。これまでのご苦労に對して、敬意を表し感謝する。これまでの活動は、「遠野文化研究センター」の組織の中で発展的に継承していく。

教育委員会制度の見直しは

問 安倍総理は、国会で「現行の教育委員会制度」を抜本的に改革すると表明したが、政治からの中立性を保ってきた教育委員会の権限を自治体の首長に移し、政治主導の教育行政に替えることを狙いにしたものである。戦前の教育の反省に立つて制定された現制度の改革は許されるものではない。
答 教育の目的は教育基本法で定められており、同法第16条では教育は不当な支配に服することなく行われるべきものであると認識している。

問 東中学校の体育用具倉庫、西中学校の多目的教室棟の整備計画の進捗状況は。
答 東中の倉庫は26年7月、西中の多目的教室棟・野外照明灯整備補



一日市の遠野文化研究センター

問 正予算を組み、26年度内に整備する予定だ。
問 第2・第4日曜日の部活・スポ少活動日について伺う。
答 土日については、可能な限り休養日とすることが望ましい。土日に練習試合等行った場合は、両日とも終日活動することのないように配慮することとして、学校に通知している。



佐々木大三郎 議員 (清風会)

農政改革に伴う 当市の農業振興策は

一問一答方式

問.....
新たな農政改革による当市農家の減収見込み額は.....

答.....
米の直接支払交付金が、10アール当たり1万5,000円から7,500円に半額となり、平成24年度交付実績で見ると遠野市全体として1億1,400万円強の農家所得の減収となる。

問.....
小・中規模農家が離.....

答.....
既に集落座談会で周知しているが、新たな情報が入る都度周知に努める。また、「地域農業マスタープラン」の見直し検討会や遠野テレビによる新制度の紹介を予定したい。

問.....
農政改革を上手く活用し農家所得の向上につなげるには、農家に制度内容を細かく丁寧に説明すべきでは.....

答.....
農しないための対応策を講じる必要があるのでは。

問.....
「営農計画や財務諸.....

答.....
遠野農業の特徴は、小・中規模農家が大半で、水稲を基盤に和牛繁殖や葉タバコ、ホップ、野菜栽培などの複合経営であることから、アストパワーアツプ事業等を充実・強化し、よりきめ細かな支援をしていきたい。

問.....
表の作成」について、当局の支援・指導体制の構築とバックアップが必要では.....



営農研修会での講義に熱心に耳を傾ける参加者たち

本庁舎の整備計画の内容は

問.....
本庁舎の設置場所に係る「進化まちづくり検証委員会」からの提言内容は「とびあ周辺に整備」となっているが、市民の利便性向上や、民有地買収等に要する費用を勘案した場合、「旧本庁舎周辺」が望ましいと考える.....

答.....
検証委員会からの提言は決定事項ではないことから、費用面や機能の集積、周辺環境の整備などあらゆる角度から検討したい。

問.....
建設工事は平成27年度着手と慌ただしい計画になっているが、市民と議論を尽くしたうえで決定が肝要では.....

答.....
交付期限の有る震災復興特別交付税(約11億4,000万円)の財源を上手く活用する観点から急いでいるが、市民への丁寧な説明と議論を尽くしたい。



萩野 幸弘 議員 (緑風会)

若者の出会いと婚姻数 拡大に向けた取り組みを

問.....
当市は「子育てするなら遠野」を合言葉に様々な施策を講じているが、少子化は進む一方のため、前段階である若者の婚姻件数を増やす対策こそ必要と考えるが、本市の総人口に占める結婚適齢期人口及び割合は.....

答.....
1月現在の総人口は2万9,367人で、結婚適齢期を20歳から39歳までとした場合、

男性2,701人で全体の9.2%、女性が2,419人で全体の8.2%であり、男女の合計は5,120人で全体の17.44%を占めている。

問.....
昨年1年間の婚姻件数は何件か。また、今後の見通しは.....

答.....
昨年本市に直接届け出のあった婚姻件数は95件。因みに24年は114件、23年は94件

であった。今後も年間100件前後で推移すると見込んでいます。

問.....
若手市職員を中心とした交流イベントやSL婚活列車等民間協力による出会い創出事業を実践してはどうか.....

答.....
官民一体となって取り組む意義や若手市職員の資質向上の観点からも検討に値する。

産業別後継者育成の現状と今後の対策は

問.....
産業別後継者育成の現状は.....

答.....
第1次産業のうち自営農業従事者は合計4,221人で、10代から30代が228人、40・50代が731人、60代が1,083人、70代以上が2,179人である。また、商業



めがね橋での婚活イベント

者を含む第2次、第3次産業従事者は、平成7年が1万3,097人だったのに対し、平成22年は1万1,141人となっており、15年間で1,956人、率にして5パーセント減少している。

ソフトが重要であり、それを組み立てるのは人である。果敢に挑戦する若い世代を引き上げ、更には押し上げていく中から、本市の産業振興に結び付いていくようなプログラムを組んでいきたい。

問.....
後継者育成の今後に向けた展望は.....

答.....
身の丈で何が出来るかを考えれば、特に



菊池 由紀夫 議員 (新興会)

一括質問方式

新たな農業・農村政策の展開は

規制緩和の大きな流れが、農業・労働・医療の分野へと大きく動き始め、農業分野においては新基本計画が示され、新たな農業・農村政策が展開される。国の成長戦略進化のため、規制改革会議に続き、産業競争力会議では農協・農業委員会・農業生産法人のあり方を明記し、今までにない改革が強力に図られる。

1. 農地中間管理機構創設に伴う行政負担の増加に、どのように対処していくか。

2. 経営所得安定対策と、米政策の見直しに伴う産地の位置付けを高めるための表敬訪問トップセールスの重要性が高まっている。今後どのように対処していくか。

3. 日本型直接支払制度の創設に伴い、地域格差を生じさせない取り組みの必要性による財源確保を含め、今後どのような工程を組み、具現化していくのか。

農地中間管理機構と直接支払制度は

問.....
農地中間管理機構から、多くの業務が市に委託されることにより、人的・財政的に負担が増えることが想定されるが、どのように対処していくか。

答.....
農業を足腰の強い産業にしていくための産業政策と、農業の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域政策を一体的に推進することを目的とし、農地の加速度的取り組みの推進は、高齢化が進む本市においても担い手育成の有効な施策として、有益的に活用し、課題解決を図っていく。事業は国・県の負担となるが、業務は地域の農業を熟知している農業委員会・機関団体と連携し、取り組みたい。

問.....
日本型直接支払制度が地域間で格差を生まないよう、全ての地域で活動計画を策定し、



大切にしたい遠野の田園風景

問.....
取り組むべきと考えるが、今後どのように取り組んでいくのか。

答.....
4つ目の改革である農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対し、支援するための創設された。農地管理の負担軽減を図る必要から、地域ぐるみでの取り組みを

推進する当該制度の活用は、必須のものと考えている。
多くの地域での取り組みができるよう、農地維持支払いの地区拡大を重点的に行い、資源向上支払への活動の拡充を誘導する手法を進め、地域コミュニティの再生維持につなげたい。



菊池 邦夫 議員 (新興会)

一問一答方式

廃屋・空き家対策等の取り組みは

問.....
老朽化した放置空き家が社会問題となっている。適切な管理が行われていない空き家等が、防災、衛生、景観等で地域住民の生活環境に影響を及ぼしているが、その対策は。

答.....
「遠野市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例」制定に向けて取り組んできた。政府における議員

立法の法案が示されており、法案が確定してからこれまで準備してきた内容を活かし、対応していきたい。市内の空き家は平成25年6月調査において382件で、うち廃屋、危険家屋は65件である。

問.....
空き家等の有効活用に当たって、空き家が放置されて管理不全になる前にこれを有効活用し、観光、交流、定住の促進等を図ること

答.....
はどうなっているか。

居住可能な空き家をホームページで公開し、リフォーム助成金を活用しながら移住希望者に提供している。今後は、空き家情報を一元化し、「遠野空き家バンク」を整備し、移住者の増加を図っていく。

子育て支援の対応策は

問.....
「子ども・子育て支援新制度」が平成27年度から本格施行となるが、市立保育所幼稚園の運営のあり方はどうなっているのか。

答.....
幼保連携型認定こども園が改善され、これまで幼稚園は学校教育法、保育所は児童福祉法と別々の制度により定められていた認可基準や財政措置が一本化される。市内の公立保育所幼稚園は、認定こ

問.....
遠野わらすっこプランの推進で、「子育て遠野」とあるが、特筆されること

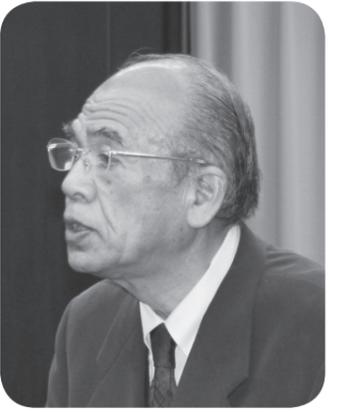
答.....
平成26年度事業のうち、「子育てするなら遠野」として特に力を入れて取り組むものは、不妊治療の支援事業の拡充と学力向上対策事業の推進が挙げられる。学力向上対策事業については、教育長を本部長とする「子育てするなら遠野推進本部」を立ち上げ、取り組みを加速させたい。



寒さに負けず外遊びを楽しむ子どもたち

問.....
遠野市保育協会の職員は約260名だが、正規職員は約3分の1で臨時職員比率が高い。この現状が良好と言えるのか。

答.....
正職員の割合を高めたいことが望まれるが、保育協会としても将来の経営上の見通しに立った運営がなされていると思われ。



石橋 達八 議員
(無会派)

防災力の強化と 消防団の 処遇改善は

問.....

「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」は、消防団を「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできな

か。 遇改善にどう対応する

答.....

災害警戒活動や、捜索活動の安全確保のため、3年計画で雨合羽の貸与を始めた。また、女性の消防団員の必要性から消防職員を募集しているが、昨年度は応募がなかった。報酬等処遇改善は、今後の課題である。

一括質問方式

携帯できるカードの 配布を求めたいがどうか

問.....

支援を受けたいと要望する方や、子どもたちにも常時携帯できるカードの配布を求めたいがどうか。

答.....

高齢者や災害弱者の

サポートとして、災害時の要援護者名簿の作成や、遠野市社会福祉協議会との連携で、安心箱や「緊急連絡カード」を配置している。障害者や高齢者に限らず、支援が必要と思われる方の意向を確認しながら「福祉票」への登録を進める。

問.....

高齢化社会の進展に伴い、読み書き支援の必要性が求められている。当市では、代読、代筆支援体制は必要ないか。

答.....

地区センターやふれあいホームの関係者、地域関係者と連携を取りながら、情報を把握共有し、地域住民が支え合いながら、高齢者が読み書きに困らない支援体制を検討したい。

ジュニアスポーツの 振興策は

問.....

ソチオリンピックでは、逆境を乗り越え限界に挑む輝き、家族のきずなや地域のサポート、指導者の重要性、メダルは取れなくても人間勝者としての輝きなど、生きた教材であった。ジュニアスポーツ振興のために、就学前から小中学校時代が重要と感じた。教育行政方針では、

教育環境の充実が述べられたが。

答.....

スポーツ少年団の東北大会、全国大会の参加も増えている。これも指導者の力によるものである。指導力向上のため、研修開催、資格取得のための講習受講の助成、トップアスリートの招へいも行っている。さらに、大きな舞台で活躍できるように、スポーツ振興を推進する。



防災訓練でのひとコマ



小松 大成 議員
(無会派)

集団的自衛権に 対する 市長の見解は

問.....

安倍政権は、これまでの政府の憲法解釈を大きく変え、集団的自衛権の行使を可能とする解釈改憲を公然と表明するなど、海外で戦争のできる国へと変質させようとしている。戦前戦中を体験してきた市民の中からも戦前

答.....

過去の悲惨な戦争の教訓から、日本国憲法において、世界人類の平和と共存を願う戦争放棄をうたい、国際社会の中でも平和国家としての信頼を得てきた歴史がある。集団的自衛権の問題については、日本の将来を左右する重大な案件であり、慎重な審議が求められる。

一括質問方式

乳児・小中学生医療費 給付事業の拡充の考えは

問.....

市長は「子育てするなら遠野市で」をキャッチフレーズとしてさまざまな施策を展開している事は評価できている。しかし、かつては乳幼児への医療費助成制度が目玉であった遠野市ではあったが、中学生までの医療費全額助成自治体が珍しく無くなった今日では更なる拡充が望まれる。

答.....

子育て世代の医療費の経済負担は、切実な問題である。乳幼児・小中学生医療費給付事業の拡大については「とおのわらすっこプラン」の中で総合的に判断する。

商店街の新たな 振興策は

問.....

遠野市は「快適スマイル応援事業」として個人住宅リフォームに

対する助成事業を行っており、事業利用者から好評である。同様の事業を群馬県高崎市では個人経営の小売業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業などを営む業種へ導入しており、商店街振興策として全国から注目をされている。検討の価値があるのでないか。

答.....

中心市街地活性化のため、これまでの商店街振興策にさまざまな検討を加え、全面的見直しを図り再構築する。



熱心にひなまんじゅう作りをする子どもたち



菊池 巳喜男 議員 (清風会)

一問一答方式

【その他の質問】

知・徳・体のバランスのとれた人間形成を目指した学力向上対策の内容は。

再生可能エネルギーへの取り組みは

再生可能エネルギー資源を生かしたまちづくりを、プロジェクトチームを立ち上げて検討されているが、どのように進めていくのか。

答..... 上げる。その後、平成27年度から28年度に事業の具体策を検討して行きたい。

問..... キャトルセンター等から大量に発生する糞尿を活用し、バイオマスをガスプラント導入により、廃棄物が資源として有効利用され産業の活性化が期待されるが、検討してはどうか。

答..... 木工団地内へのチップ化工場の整備によって、豊富な森林資源を活用した木質バイオマス発電が可能となるのでは。その事により、雇用創出、売電による収益確保も期待できると考えるが、導入を検討すべきではないか。

チームスタッフに「プラチナ構想スクール」を受講した4人を充て、検討報告を待っている状況であり、平成26年度で素案を成案にするべく事業を立ち

問..... 平成26年度からは段階的にキャトルセンターが稼働することから、既にその糞尿の対策について、専門家との検討も行っている。

問..... 農業委員会と農地中間管理機構との役割は

答..... バイオマスの活用は、ゴミとして捨てられていたものを資源として再利用し、熱や電気といったエネルギーを得ることを可能とする。さらに、資源調達やプラントの運用のため、一定の雇用創出も期待されることから、優先して取り組むべき施策であると考えている。

問..... この4月から岩手県でも農地中間管理機構を岩手県農業公社が担うことになっているが、農業委員会はどのように把握し対応していくのか。

答..... 農家の所得向上を図るため、農業委員会は市と連携し総力を挙げて農地中間管理事業に取り組む、対応していきたい。



バイオマスパワーしずくいしの案内板

時代の変化に対応したまちづくりは

市長選の際に新聞掲載された「当市の課題」の中で求められていたストロー現象と、人口減少や公共施設の活用及びまちづくりに対する総合力を発揮するための対策に関し、時代の変化に対応したまちづくりが必要ではないか。

問..... 市長選の際に新聞掲載された「当市の課題」の中で求められていたストロー現象と、人口減少や公共施設の活用及びまちづくりに対する総合力を発揮するための対策に関し、時代の変化に対応したまちづくりが必要ではないか。

答..... 交流人口の拡大及び宮守町めがね橋周辺の活性化に向け、今後人口減少に対応した地域コミュニティ再編については、第2次遠野市進捗まちづくり検証委員会の検証結果を基に再構築し、地域を活性あるものにした。今まで整備した公共施設の活用では、防災センター、あすもあ遠野、観光交流センター、総合食育センターなど、目的に沿った活

用を努めているが、更なる活用の充実に取り組んでいく。まちづくりに対する官民の枠を超えた総合力の発揮を促進するため、若者たちが自ら企画運営する事業の展開をサポートしていく。

また、4月から旧土淵中学校で民間による人材養成として「遠野みらい造りカレッジ」がスタートすることになっている。

問..... 県教委は「第2次県立高校整備計画」の策定を、26年度から再開する方針を固めた。結果が出る前に他から生徒を呼び込むためにも、当市として特徴ある学科の創設要望や提案をすべきでは。

答..... 市内高校のいずれも定員割れになっっている。生徒数の減少もあるが、市外高校を目指す生徒や専門分野を志す生徒もいることが要因と思う。市内中学校の卒業生は246人で、市内高校への生徒は179人、他の67人は市外高校となっている。これら現状から「特徴ある学科の創設」はその一手法である。

生徒の夢や希望を叶える学科の特待生の新枠創設なども考えられる。市の関与には限界があるが、農業など幅広い分野における地域の特性を活かした人材を育成するため、市内高校との連携を強化し、提案等をしていきたい。



多田 勉 議員 (清風会)

一括質問方式

市内高校のいずれも定員割れになっっている。生徒数の減少もあるが、市外高校を目指す生徒や専門分野を志す生徒もいることが要因と思う。市内中学校の卒業生は246人で、市内高校への生徒は179人、他の67人は市外高校となっている。これら現状から「特徴ある学科の創設」はその一手法である。

生徒の夢や希望を叶える学科の特待生の新枠創設なども考えられる。市の関与には限界があるが、農業など幅広い分野における地域の特性を活かした人材を育成するため、市内高校との連携を強化し、提案等をしていきたい。

生徒の夢や希望を叶える学科の特待生の新枠創設なども考えられる。市の関与には限界があるが、農業など幅広い分野における地域の特性を活かした人材を育成するため、市内高校との連携を強化し、提案等をしていきたい。



3月2日に行われた遠野緑峰高等学校卒業式での花鉢贈呈の様子

わたしの ひとこと



阿部 健さん
(土淵町)

私は10年前に農協に入組し、現在は共済渉外係としてお客様に共済のご点検・ご提案等で訪問する仕事をしています。

農協に入組してから10年のうち、一番の出来事は、釜石に勤務していたときに起こった東日本大震災でした。この震災後は、本店舗での営業や当時の共済渉外の担当者と同行し、お客様の被害状況の確認等いろいろなことがありましたが、少しでもお客様の役に立てることでやりがいを感じた1年でもありました。

そんなこともあり、今の支店の共済担当に異動になったときは不安もありましたが、震災で

のことを活かし、人・家・車の保障の重要性を伝えるとともに、お客様の役に立てる地域に根差した担当者になれるよう頑張っていきたいと思えます。

最後に、市に対しての個人的な要望ではありますが、2児の父親として、小児科を増やすなど、子育て環境の充実に向けた取り組みを強化してほしいと思えます。

このコーナーは、市民の皆さまのまちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

とおの議会だより クイズ

この議会だよりの中に答えがあるので、最初から最後まで読んでみてください。

○欄に適切な言葉を入れてください。

- その① 平成 26 年度遠野市の総額予算は〇〇〇億 3,000 万円。
- その② 平成 26 年 3 月 14 日に議会から市へ提出された要望書の要望事項の数は〇個。
- その③ 平成 26 年度 市民と議会との『春の懇談会』の開催日はいつからいつまでか。

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見もお書き添えください。ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。

応募者の中から、抽選で3名の方にすずらん商品券 1,000 円分をお贈りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

《あて先》 〒028-0392 遠野市宮守町下宮守 29-77 遠野市議会事務局 宛
《しめきり》 平成 26 年 5 月末日 (当日消印有効)

～議会だより 35 号クイズの答え～ その① 7 件 その② 賛成 7 反対 10 その③ 約 1 万 8 千人

編集後記

長く厳しかった冬から生命の息吹を感じる春が、待ち望んでいた S L 銀河の定期運行開始とともに巡って来ました。桜前線が間もなく当地にも到達する時季を迎えています。

東日本大震災から3年目を迎え、議場でも予算委員会の審議を中断して犠牲になられた御霊に黙祷を奉げ、被災地の復興を祈りました。

あれから4回目の春は確実に訪れ来ました。白い蒸気を吐き出し、黒煙を上げて力強く走る S L 銀河号の勇姿は、新年度を迎え、新たな気持ちで当局とともに諸課題に取り組みでいきたいという、我々議員の思いまでも乗せてくれていたような気がしています。(瀧本)

【広聴広報常任委員会】	
委員長	瀧澤 征幸
副委員長	菊池 由紀夫
委員	佐々木 大三郎
委員	多田 大勉
委員	瀧本 幸一
委員	萩野 幸一

次の定例会は、6月6日(金)から6月13日(金)までの8日間を予定しています。改めて議会運営委員会で決定されます。審議日程などの詳しいことは、議会事務局にお尋ねください。

議会への提言をお待ちしております